

ぶどう算の まちがいさがし ー

三だんの ぶどうを しらべて なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

もんだい

ゆうくんが 書いた ぶどうは、1つの ますだけ まちがえて いる。いちばん 上の だんは 合っている。

きまり

この 図を ぶどうと いう。となりあう 2つの 数を たした 数が、2つの 間の 下の ますに 入る。

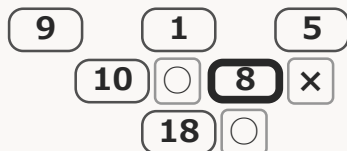
やりかた

- ① 2だん目の 左はしの ますから、上の だんから 下の だんへ、おなじ だんでは 左から 右へ ぜんぶ しらべる。その ますの ななめ上の 2つを たして、ますの 数と くらべる。
- ② 2だん目から 下の どの ますにも、すぐ 右に □が 1つずつ ある。おなじなら その □に ○、ちがえば × を 書く。
- ③ × の ますの まわりを、えんぴつで ぐるっと かこむ。
- ④ 「正しい 数」の □に、まちがえた ますの 正しい 数(ななめ上の 2つの 和)を 書く。
- ⑤ 「正しい 数」の となりの「直した 下の 数」の □に、まちがえた ますを 正しい 数に 直したとき、いちばん 下の ますが いくつに なるかを 書く。まちがえた ますの 1だん下から いちばん 下の だんまで、頭の 中か 紙の すみで 1だんずつ たし直す。ぶどうの 数は 書きかえない。

こまったら

まちがえた ますより 下の だんの ますは、まちがえた 数を使って たして あるので、しらべると 合っている。いちばん 下の ますが × のときは、「正しい 数」と「直した 下の 数」の □は おなじ 数。

れい

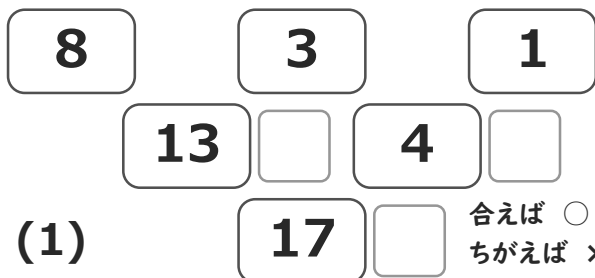


2だん目: $9+1=10$ ○ $1+5=6$ なのに $8 \rightarrow \times$

3だん目: $10+8=18$ ○

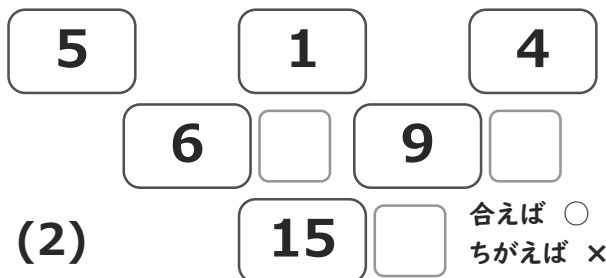
× の 8を ぐるっと かこむ。正しい 数は 6。

直した 下の 数: いちばん 下は $10+6=16$



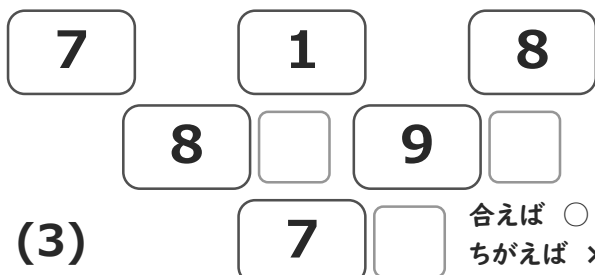
正しい 数

直した 下の 数



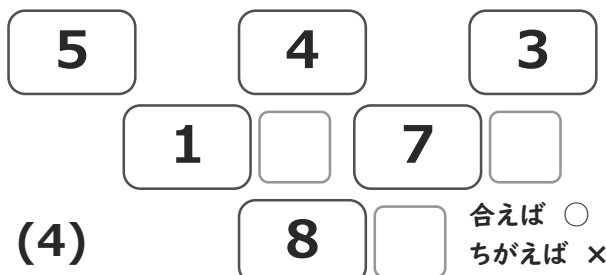
正しい 数

直した 下の 数



正しい 数

直した 下の 数



正しい 数

直した 下の 数



ぶどう算の まちがいさがし ニ

四だんの ぶどうでも しらべて なおそう

なまえ _____

ひつけ _____

もんだい

ゆうくんの 4だんの ぶどうも、まちがえた ますは 1つ。いちばん 上の だんは 合っている。

きまり

この 図を ぶどうと いう。となりあう 2つの 数を たした 数が、2つの 間の 下の ますに 入る。

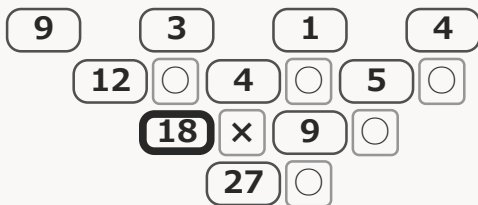
やりかた

- ① 2だん目の 左はしの ますから、上の だんから 下の だんへ、おなじ だんでは 左から 右へ ぜんぶ しらべる。その ますの ななめ上の 2つを たして、ますの 数と くらべる。
- ② 2だん目から 下の どの ますにも、すぐ 右に □が 1つずつ ある。おなじなら その □に ○、ちがえば × を 書く。
- ③ × の ますの まわりを、えんぴつで ぐるっと かこむ。
- ④ 「正しい 数」の □に、まちがえた ますの 正しい 数(ななめ上の 2つの 和)を 書く。
- ⑤ 「正しい 数」の となりの「直した 下の 数」の □に、まちがえた ますを 正しい 数に 直したとき、いちばん 下の ますが いくつに なるかを 書く。まちがえた ますの 1だん下から いちばん 下の だんまで、頭の 中か 紙の すみで 1だんずつ たし直す。ぶどうの 数は 書きかえない。

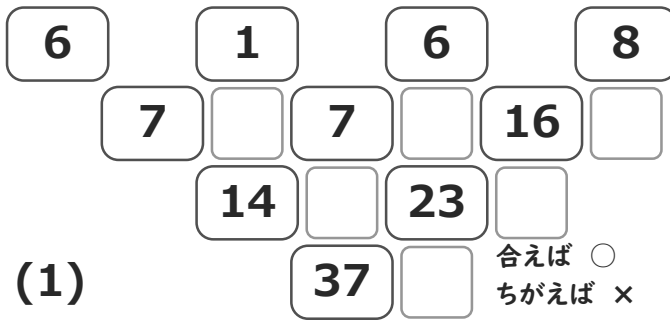
こまったら

まちがえた ますより 下の だんの ますは、まちがえた 数を使って たして あるので ○に なる。いちばん 下の ますが × のときは、「正しい 数」と「直した 下の 数」の □は おなじ 数。

れい

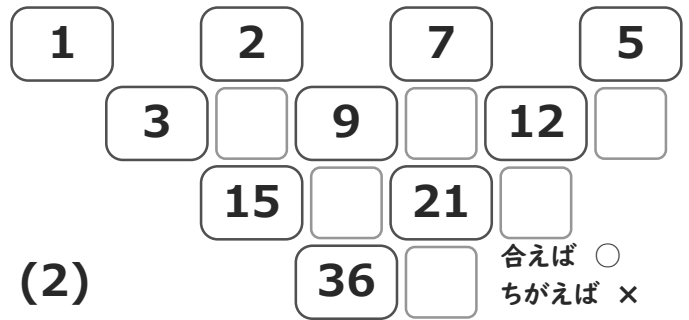


2だん目: $9+3=12$ ○ $3+1=4$ ○ $1+4=5$ ○
 3だん目: $12+4=16$ なのに $18 \rightarrow \times$ $4+5=9$ ○
 4だん目: $18+9=27$ ○
 × の 18を ぐるっと かこむ。正しい 数は 16。
 直した 下の 数: いちばん 下は $16+9=25$



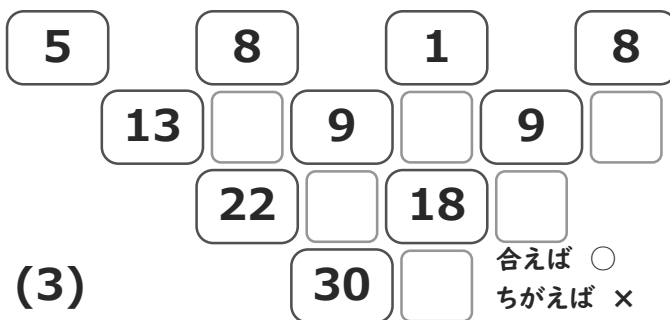
(1) 合えば ○
ちがえば ×

正しい 数 直した 下の 数



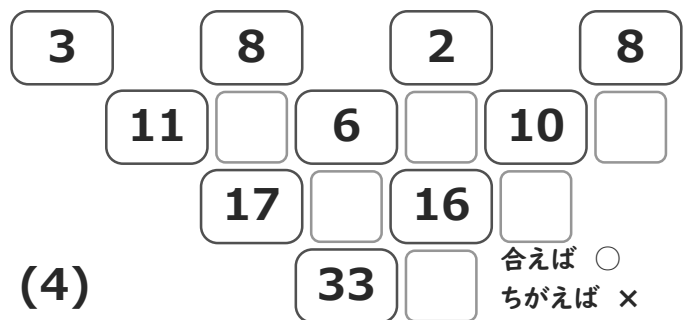
(2) 合えば ○
ちがえば ×

正しい 数 直した 下の 数



(3) 合えば ○
ちがえば ×

正しい 数 直した 下の 数



(4) 合えば ○
ちがえば ×

正しい 数 直した 下の 数



ぶどう算の まちがいさがし 三

だんの 手がかりで まちがいを さがそう

なまえ

ひづけ

もんだい

ゆうくんの ぶどうは、1つの ますだけ まちがえて いる。いちばん 上の だんは 合っている。

きまり

この 図を ぶどうと いう。となりあう 2つの 数を たした 数が、2つの 間の 下の ますに 入る。

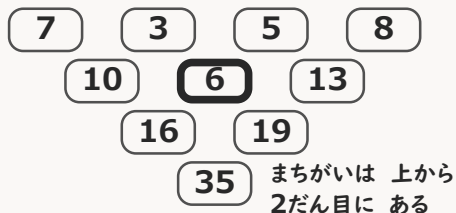
やりかた

- ① ぶどうの 右下に、まちがいの ある だんが「まちがいは 上から ○だん目に ある」と 書いて ある(○には 数字が 入る。いちばん 上の だんが 1だん目)。その だんだけ しらべる。
- ② その だんの ますを 左から 右へ 1つずつ、ななめ上の 2つを たした 数と くらべる。しらべる □は ないので、頭の 中で 合う・合わないを 決める。
- ③ 合わない ますの まわりを、えんぴつで ぐるっと かこむ。
- ④ 「正しい 数」の □に、まちがえた ますの 正しい 数(ななめ上の 2つの 和)を 書く。
- ⑤ 「正しい 数」の となりの「直した 下の 数」の □に、まちがえた ますを 正しい 数に 直したとき、いちばん 下の ますが いくつに なるかを 書く。まちがえた ますの 1だん下から いちばん 下の だんまで、頭の 中か 紙の すみで 1だんずつ たし直す。ぶどうの 数は 書きかえない。

こまったら

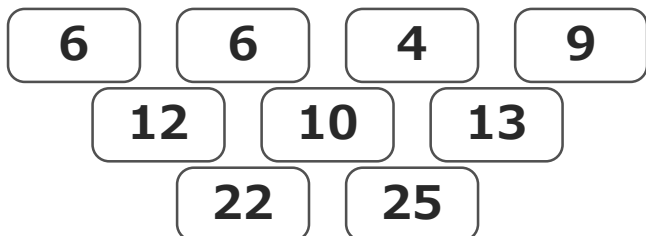
まちがえた ますより 下の だんの ますは、まちがえた 数を使って たして あるので、しらべると 合っ ている。いちばん 下の ますが まちがいの ときは、「正しい 数」と「直した 下の 数」の □は おなじ 数。

れい



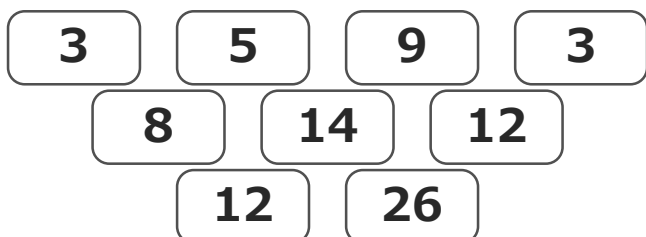
2だん目: $7+3=10$ ○ $3+5=8$ なのに $6 \rightarrow \times$ $5+8=13$ ○
× の 6を ぐるっと かこむ。正しい 数は 8。

直した 下の 数: 3だん目は 18、21、いちばん 下は $18+21=39$



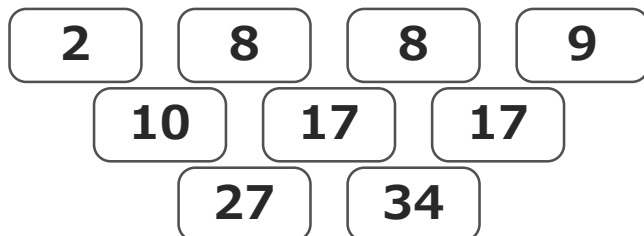
(1) まちがいは 上から 3だん目に ある

正しい 数 直した 下の 数



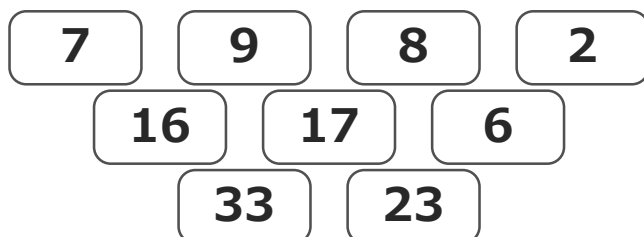
(3) まちがいは 上から 3だん目に ある

正しい 数 直した 下の 数



(2) まちがいは 上から 2だん目に ある

正しい 数 直した 下の 数



(4) まちがいは 上から 2だん目に ある

正しい 数 直した 下の 数



ぶどう算の まちがいさがし 四

だんも 自分で 見つけて なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

もんだい

ゆうくんの ぶどうは、1つの ますだけ まちがえて いる。いちばん 上の だんは 合っている。どの だんかは 書いて いない。しらべる □は ない。頭の 中で しらべる。

きまり

この 図を ぶどうと いう。となりあう 2つの 数を たした 数が、2つの 間の 下の ますに 入る。

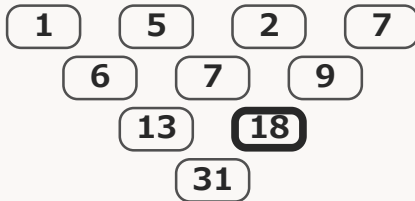
やりかた

- ① 2だん目の 左はしの ますから、上の だんから 下の だんへ、おなじ だんでは 左から 右へ 1つずつ しらべる。その ますの ななめ上の 2つを たした 数と、ますの 数を くらべる。
- ② 合わない ますを 見つけたら、まわりを ぐるっと かこむ。まちがいは かならず 1か所。見つけたら、ほかの ますは しらべなくて よい。
- ③ 「正しい 数」の □に、まちがえた ますの 正しい 数(ななめ上の 2つの 和)を 書く。
- ④ 「正しい 数」の となりの「直した 下の 数」の □に、まちがえた ますを 正しい 数に 直したとき、いちばん 下の ますが いくつに なるかを 書く。まちがえた ますの 1だん下から いちばん 下の だんまで、頭の 中か 紙の すみで 1だんずつ たし直す。ぶどうの 数は 書きかえない。

こまったら

はじめて 合わない ますが、まちがえた ます。まちがえた ますより 下の だんの ますは、まちがえた 数を使って たして あるので、しらべると 合っ ている。いちばん 下の ますが まちがいの ときは、「正しい 数」と「直した 下の 数」の □は おなじ 数。

れい

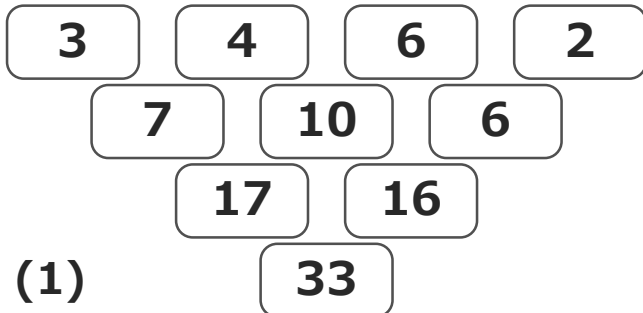


2だん目: $1+5=6$ ○ $5+2=7$ ○ $2+7=9$ ○

3だん目: $6+7=13$ ○ $7+9=16$ なのに $18 \rightarrow \times$

× の 18を ぐるっと かこむ。正しい 数は 16。

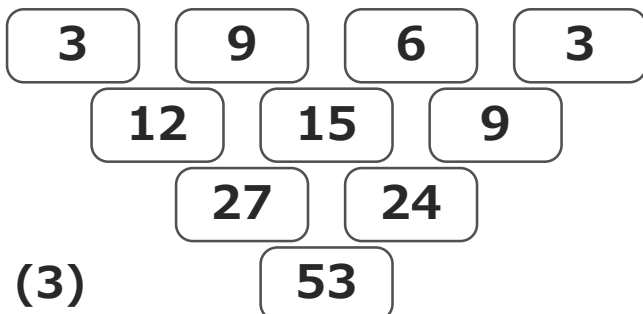
直した 下の 数: いちばん 下は $13+16=29$



(1)

正しい 数

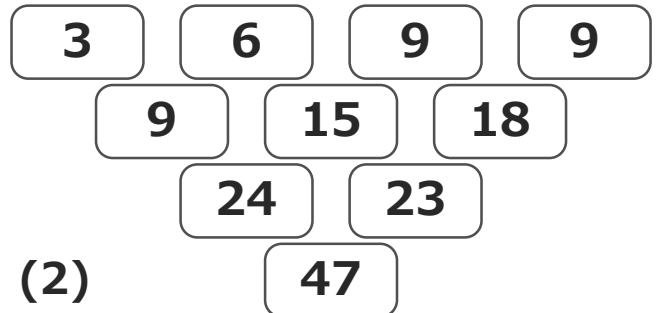
直した 下の 数



(3)

正しい 数

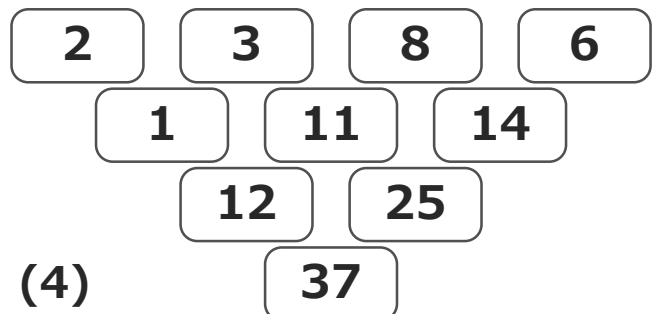
直した 下の 数



(2)

正しい 数

直した 下の 数



(4)

正しい 数

直した 下の 数



ぶどう算の まちがいさがし 五

まちがいがない こともある

なまえ _____

ひづけ _____

もんだい

この 紙には ぶどうが 4つ ある。どの ぶどうも、まちがい 1か所 ある か、1か所も ない か の どちらか。いちばん 上の だんは 合っている。しらべる □は ない。

きまり

この 図を ぶどうと いう。となりあう 2つの 数を たした 数が、2つの 間の 下の ますに 入る。

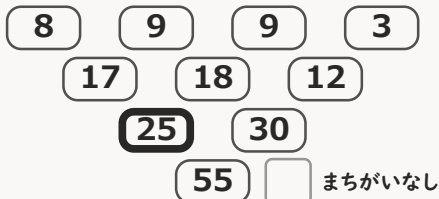
やりかた

- ① ぶどうは、左下の 番号 (1)から (4)の じゅんに 1つつ しらべる。1つの ぶどうでは、2だん目の 左はしの ますから、上の だんから 下の だんへ、おなじ だんでは 左から 右へ しらべる。その ますの ななめ上の 2つを たした 数と、ますの 数を くらべる。
- ② 合わない ますを 見つけたら、まわりを ぐるっと かこむ。ほかの ますは しらべなくて よい。
- ③ 「正しい 数」の □に、まちがえた ますの 正しい 数(ななめ上の 2つの 和)を 書く。
- ④ 「正しい 数」の となりの「直した 下の 数」の □に、まちがえた ますを 正しい 数に 直したとき、いちばん 下の ますが いくつに なるかを 書く。まちがえた ますの 1だん下から いちばん 下の だんまで、頭の 中か 紙の すみで 1だんずつ たし直す。ぶどうの 数は 書きかえない。
- ⑤ どの ますも 合って いたら、その ぶどうの 右下の「まちがいなし」の □に ○を 書く(「正しい 数」「直した 下の 数」の □は 空ける)。

こまったら

いちばん 下の ますが まちがいの ときは、「正しい 数」と「直した 下の 数」は おなじ 数。

れい



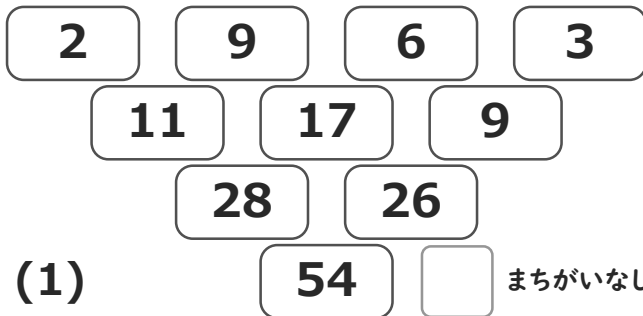
2だん目: $8+9=17$ ○ $9+9=18$ ○ $9+3=12$ ○

3だん目: $17+18=35$ なのに $25 \rightarrow \times$ $18+12=30$ ○

× の 25を ぐるっと かこむ。正しい 数は 35。

直した 下の 数: いちばん 下は $35+30=65$

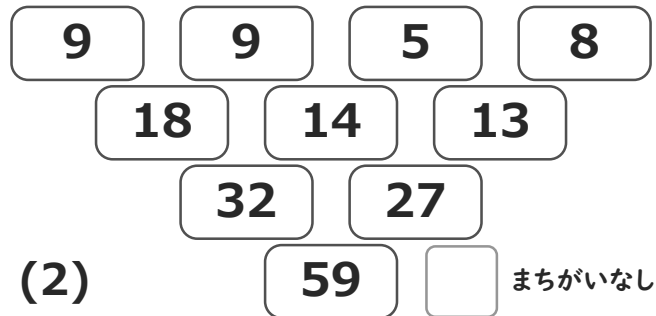
まちがいがある ので「まちがいなし」の □は 空け。ぜんぶ 合って いたら ○。



(1)

正しい 数

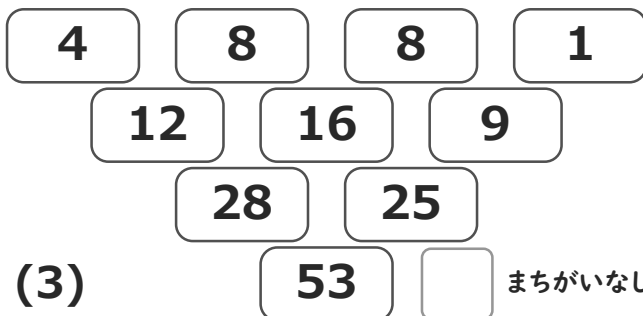
直した 下の 数



(2)

正しい 数

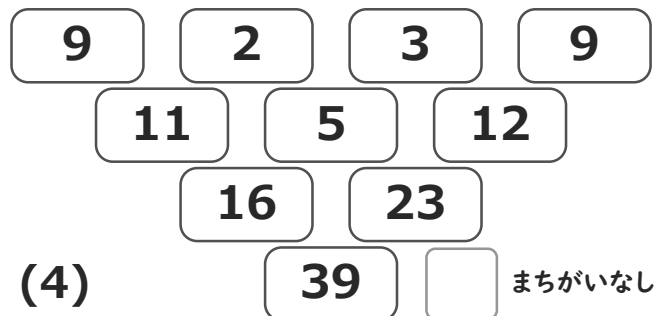
直した 下の 数



(3)

正しい 数

直した 下の 数



(4)

正しい 数

直した 下の 数



ぶどう算の まちがいさがし ー【こたえ】

三だんの ぶどうを しらべて なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

こたえ(赤い 字や 丸が 書く ところ)

どこが まちがいかなぜかどう 直すか

(1) 2だん目の 左から 1ばん目の ますの 13が まちがい。上の 8と 3を

たすと 11。だから 正しい 数は 11。

まちがえ方:8+3の 一の位を たしまちがえた(十の位は 合っている)。

直すといちばん 下は $11+4=15$ 。

(2) 2だん目の 左から 2ばん目の ますの 9が まちがい。上の 1と 4を たすと 5。だから 正しい 数は 5。

まちがえ方:となりあう 1と 4でなく、間に 1つ はさんだ 5と 4を たした。

直すといちばん 下は $6+5=11$ 。

(3) いちばん 下の ますの 7が まちがい。上の 8と 9を たすと 17。だから

正しい 数も 直した 下の 数も 17。

まちがえ方:8+9で くり上がりを 書きわすれた(17の ところが 10 ちがい)。いちばん

下なので 直す ところは この 1つだけ。

(4) 2だん目の 左から 1ばん目の ますの 1が まちがい。上の 5と 4を たすと 9。だから 正しい 数は 9。

まちがえ方:5と 4を たさずに、ひき算をした。直すといちばん 下は $9+7=16$ 。

ポイント:まちがいの 下の ますが 合っ て 見えるのは、まちがえた 数 を 使っ て たし て あるから。だから 上の だんから じゅん に しらべて、はじめて 合わない ますが 出発点。

おうちの方へ

採点は ①かこんだ ます ②正しい 数 ③直した 下の 数 の3つです。かこみ方(ますの まわりを かこむ・ますの 中に ○を 書く)は どちらでも 正解です。

ますの 右の □(○×)は 考えを 整理する 欄なので 採点しません。×が 1つだけなのは、下の ますが まちがえた 数 を 使っ て たし て あるからです。

声かけの例:『どの ますから しらべた?』『下の ますは 合っ て いるのに、どうして ここが まちがいと 分かったの?』『直したら 下の 数は どう 変わった?』

8	3	1	
13	×	4	○
(1)	17	○	合えば ○ ちがえば ×
正しい 数	11	直した 下の 数	15

5	1	4	
6	○	9	×
(2)	15	○	合えば ○ ちがえば ×
正しい 数	5	直した 下の 数	11

7	1	8	
8	○	9	○
(3)	7	×	合えば ○ ちがえば ×
正しい 数	17	直した 下の 数	17

5	4	3	
1	×	7	○
(4)	8	○	合えば ○ ちがえば ×
正しい 数	9	直した 下の 数	16

ぶどう算の まちがいさがし ニ【こたえ】

四だんの ぶどうでも しらべて なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

こたえ(赤い 字や 丸が 書く ところ)

どこが まちがいかなぜかどう 直すか

- (1) 2だん目の 左から 3ばん目の ますの 16が まちがい。上の 6と 8を たすと 14。だから 正しい 数は 14。
まちがえ方:6+8の 一の位を たしまちがえた(十の位は 合っている)。直す と 3だん目は 14、21、いちばん 下は $14+21=35$ 。
- (2) 3だん目の 左から 1ばん目の ますの 15が まちがい。上の 3と 9を たすと 12。だから 正しい 数は 12。
まちがえ方:となりあう 3と 9でなく、間に 1つ はさんだ 3と 12を たした。
直す と いちばん 下は $12+21=33$ 。
- (3) いちばん 下の ますの 30が まちがい。上の 22と 18を たすと 40。だから 正しい 数も 直した 下の 数も 40。
まちがえ方:22+18で くり上がり を 書きわすれた(40の ところが 10 ちがい)。いちばん 下なので 直す ところは この 1つだけ。
- (4) 2だん目の 左から 2ばん目の ますの 6が まちがい。上の 8と 2を たすと 10。だから 正しい 数は 10。
まちがえ方:8と 2を たさずに、ひき算を した。直す と 3だん目は 21、20、いちばん 下は $21+20=41$ 。
ポイント:まちがいの 下の ますが 合っ て 見えるのは、まちがえた 数 を 使っ て たし て あるから。だから 上の だんから じゅんに しらべて、はじめて 合わない ますが 出発点。

おうちの方へ

採点は ①かこんだ ます ②正しい 数 ③直した 下の 数 の3つです。かこみ方(ますの まわりを かこむ・ますの 中に ○を 書く)は どちらでも 正解です。

ますの 右の □(○×)は 考えを 整理する 欄なので 採点しません。×が 1つだけなのは、下の ますが まちがえた 数 を 使っ て たし て あるからです。

声かけの例:『どの ますから しらべた?』『下の ますは 合っ て いるのに、どうして ここが まちがいと 分かったの?』『直したら 下の 数は どう 変わった?』

6 1 6 8 7 ○ 7 ○ 16 × 14 ○ 23 ○ 37 ○ 合えば ○ ちがえば ×	1 2 7 5 3 ○ 9 ○ 12 ○ 15 × 21 ○ 36 ○ 合えば ○ ちがえば ×
(1) 正しい 数 14 直した 下の 数 35	(2) 正しい 数 12 直した 下の 数 33
5 8 1 8 13 ○ 9 ○ 9 ○ 22 ○ 18 ○ 30 × 合えば ○ ちがえば ×	3 8 2 8 11 ○ 6 × 10 ○ 17 ○ 16 ○ 33 ○ 合えば ○ ちがえば ×
(3) 正しい 数 40 直した 下の 数 40	(4) 正しい 数 10 直した 下の 数 41

ぶどう算の まちがいさがし 三【こたえ】

だんの 手がかりで まちがいを さがそう

なまえ _____

ひづけ _____

こたえ(赤い 字や 丸が 書く ところ)

どこが まちがいかな・なぜかな・どう 直すか

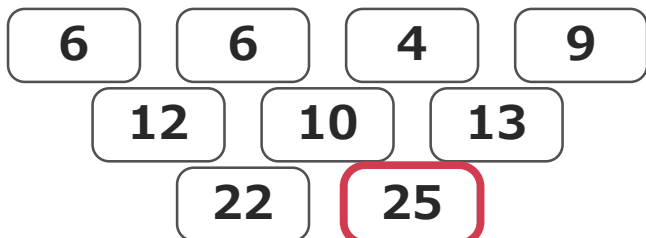
- (1) 3だん目の 左から 2ばん目の ますの 25が まちがい。上の 10と 13を たすと 23。だから 正しい 数は 23。
まちがえ方:10+13の 一の位を たしまちがえた(十の位は 合っている)。
直すと いちばん 下は $22+23=45$ 。
- (2) 2だん目の 左から 2ばん目の ますの 17が まちがい。上の 8と 8を たすと 16。だから 正しい 数は 16。
まちがえ方:となりあう 8と 8でなく、間に 1つ はさんだ 8と 9を たした。直すと 3だん目は 26、33、いちばん 下は $26+33=59$ 。
- (3) 3だん目の 左から 1ばん目の ますの 12が まちがい。上の 8と 14を たすと 22。だから 正しい 数は 22。
まちがえ方:8+14で くり上がりを 書きわすれた(22の ところが 10 ちがい)。
直すと いちばん 下は $22+26=48$ 。
- (4) 2だん目の 左から 3ばん目の ますの 6が まちがい。上の 8と 2を たすと 10。だから 正しい 数は 10。
まちがえ方:8と 2を たさずに、ひき算を した。直すと 3だん目は 33、27、いちばん 下は $33+27=60$ 。
ポイント:まちがいの 下の ますが 合っ て 見えるのは、まちがえた 数 を 使っ て たし て あるから。だから 上の だんから じゅん に しらべ て、はじ め て 合 わ ない ます が 出 発 点。

おうちの方へ

採点は ①かこんだ ます ②正しい 数 ③直した 下の 数 の3つです。かこみ方(ますの まわりを かこむ・ますの 中に ○を 書く)は どちらでも 正解です。

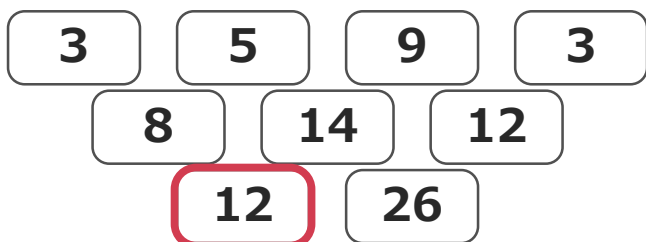
手がかりの「上から ○だん目」は、その だんの ますだけ しらべればよい という 合図です。

声かけの例:『どの ますから しらべ た?』『下の ますは 合っ て いるのに、どうして ここが まちがいと 分かったの?』『直したら 下の 数は どう 変 わ った?』



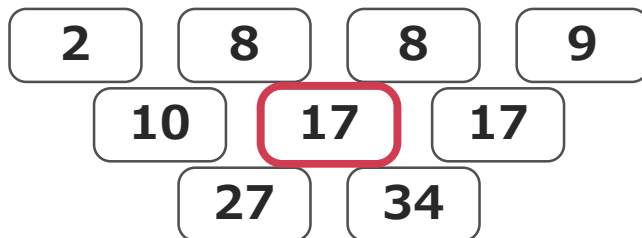
(1) 47 まちがいは 上から 3だん目に ある

正しい 数 23 直した 下の 数 45



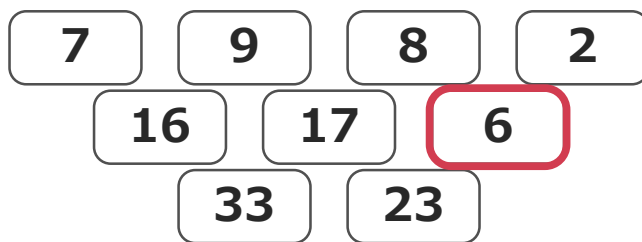
(3) 38 まちがいは 上から 3だん目に ある

正しい 数 22 直した 下の 数 48



(2) 61 まちがいは 上から 2だん目に ある

正しい 数 16 直した 下の 数 59



(4) 56 まちがいは 上から 2だん目に ある

正しい 数 10 直した 下の 数 60

ぶどう算の まちがいさがし 四【こたえ】

だんも 自分で 見つけて なおそう

なまえ _____

ひづけ _____

こたえ(赤い 字や 丸が 書く ところ)

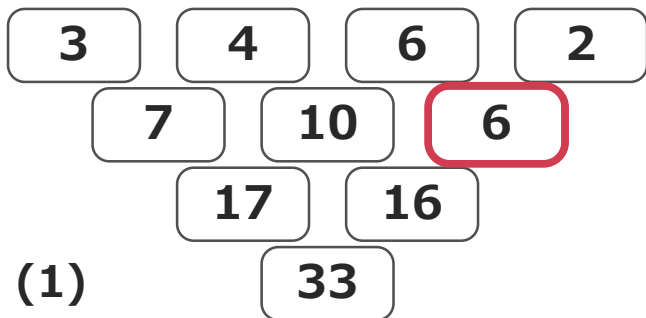
どこが まちがいかな・なぜかな・どう 直すか

- (1) 2だん目の 左から 3ばん目の ますの 6が まちがい。上の 6と 2を たすと 8。だから 正しい 数は 8。
まちがえ方:となりあう 6と 2でなく、間に 1つ はさんだ 4と 2を たした。直す と 3だん目は 17、18、いちばん 下は $17+18=35$ 。
- (2) 3だん目の 左から 2ばん目の ますの 23が まちがい。上の 15と 18を たすと 33。だから 正しい 数は 33。
まちがえ方:15+18で くり上がりを 書きわすれた(33の ところが 10 ちがい)。直す と いちばん 下は $24+33=57$ 。
- (3) いちばん 下の ますの 53が まちがい。上の 27と 24を たすと 51。だから 正しい 数も 直した 下の 数も 51。
まちがえ方:27+24の 一の位を たしまちがえた(十の位は 合っている)。いちばん 下なので 直す ところは この 1つだけ。
- (4) 2だん目の 左から 1ばん目の ますの 1が まちがい。上の 2と 3を たすと 5。だから 正しい 数は 5。
まちがえ方:2と 3を たさずに、ひき算を した。直す と 3だん目は 16、25、いちばん 下は $16+25=41$ 。
ポイント:まちがいの 下の ますが 合っ て 見えるのは、まちがえた 数 を 使っ て たし て あるから。だから 上の だんから じゅん に しらべ て、はじ め て 合 わ ない ます が 出 発 点。

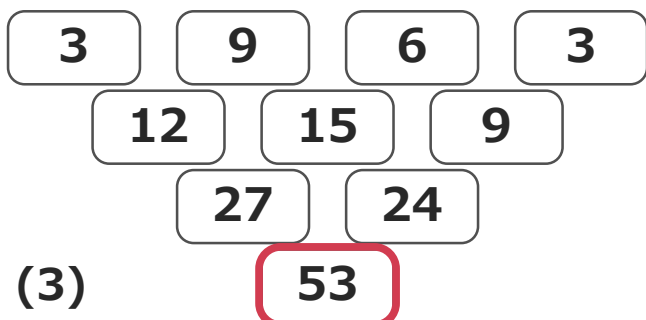
おうちの方へ

採点は ①かこんだ ます ②正しい 数 ③直した 下の 数 の3つです。かこみ方(ますの まわりを かこむ・ますの 中に ○を 書く)は どちらでも 正解です。

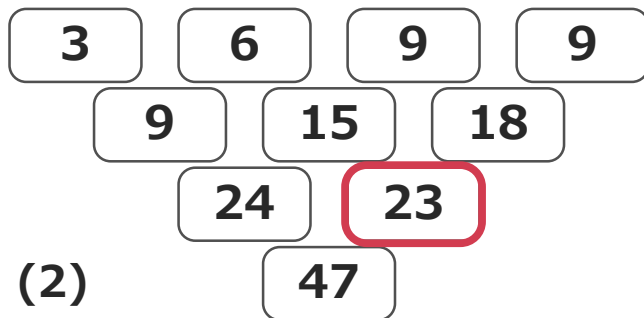
声かけの例:『どの ますから しらべ た?』『下の ますは 合っ て いるのに、どうして ここが まちがいと 分かったの?』『直したら 下の 数は どう 変わった?』



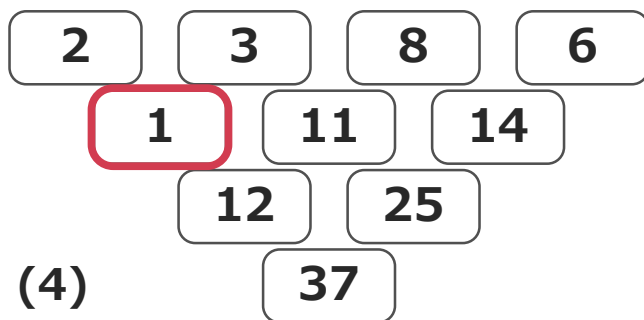
正しい 数 8 直した 下の 数 35



正しい 数 51 直した 下の 数 51



正しい 数 33 直した 下の 数 57



正しい 数 5 直した 下の 数 41

ぶどう算の まちがいさがし 五【こたえ】

まちがいがない こともある

なまえ _____

ひづけ _____

こたえ(赤い 字や 丸が 書く ところ)

どこが まちがいかな・なぜかな・どう 直すか

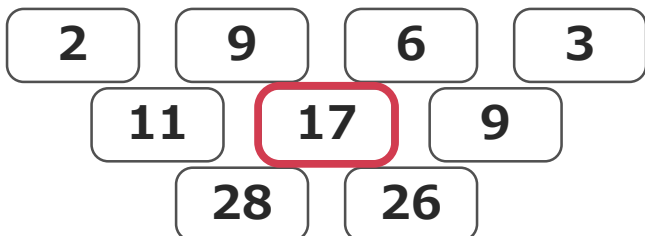
- (1) 2だん目の 左から 2ばん目の ますの 17が まちがい。上の 9と 6を たすと 15。だから 正しい 数は 15。
まちがえ方:9+6の 一の位を たしまちがえた(十の位は 合っている)。直す と 3だん目は
26、24、いちばん 下は $26+24=50$ 。
- (2) まちがいなし。どの ますも 上の 2つを たした 数に なっている。「まちがいなし」の
□に ○。ほかの □は あけたまま。
- (3) まちがいなし。どの ますも 上の 2つを たした 数に なっている。「まちがいなし」の
□に ○。ほかの □は あけたまま。
- (4) 3だん目の 左から 2ばん目の ますの 23が まちがい。上の 5と 12を たすと 17。だから 正しい 数は 17。
まちがえ方:となりあう 5と 12でなく、間に 1つ はさんだ 11と 12を たした。
直す と いちばん 下は $16+17=33$ 。
ポイント:まちがいの 下の ますが 合っ て 見えるのは、まちがえた 数 を 使っ て たし て あるから。だから 上の
だんから じゅんに しらべて、はじめて 合わない ますが 出発点。

おうちの方へ

採点は ①かこんだ ます ②正しい 数 ③直した 下の 数 の3つです。かこみ方(ますの まわりを かこむ・ますの 中に ○を 書く)は どちらでも 正解です。

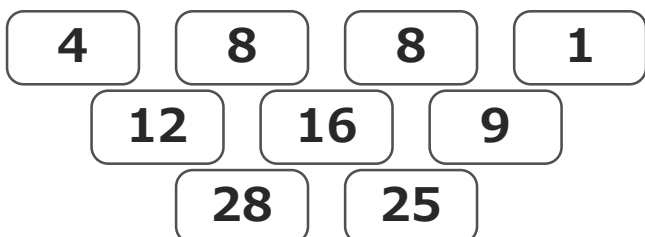
まちがいなしの ぶどうは「まちがいなし」の □に ○だけが 正解です。「かならず 1つ ある」と 思い込んで いないか 見て ください。まちがいなしの 問題は 検査の あとが 紙に 残らないので、『ぜんぶの ますを しらべた?』と 声 を かけて ください。

声かけの例:『どの ますから しらべた?』『下の ますは 合っ て いるのに、どうして ここが まちがいと 分かったの?』『直したら 下の 数は どう 変った?』



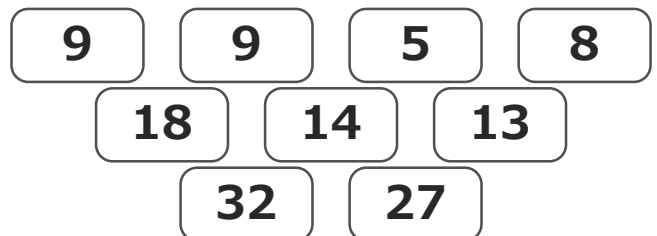
(1) 54 ☐ まちがいなし

正しい 数 15 直した 下の 数 50



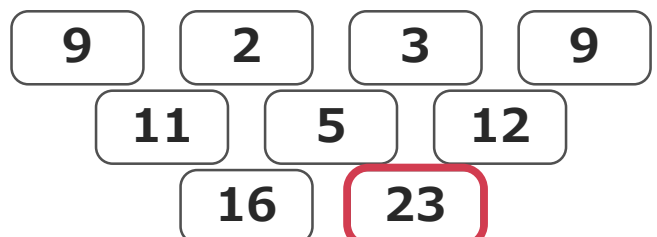
(3) 53 ☐ まちがいなし

正しい 数 直した 下の 数



(2) 59 ☐ まちがいなし

正しい 数 直した 下の 数



(4) 39 ☐ まちがいなし

正しい 数 17 直した 下の 数 33